

受益者の皆さまへ

平素は格別のご愛顧を賜り厚く御礼申し上げます。

さて、「インベスコ オーストラリア債券ファンド (年1回決算型)」は、このたび、第9期の決算を行いました。

当ファンドは豪ドル建ての公社債などを実質的な主要投資対象とし、中長期的に安定した収益の確保および投資信託財産の着実な成長を図ることを目標として運用を行いました。

ここに、当作成対象期間の運用経過等についてご報告申し上げます。

今後とも一層のご愛顧を賜りますようお願い申し上げます。



インベスコ オーストラリア債券ファンド (年1回決算型)

追加型投信/海外/債券



第9期末(2024年2月20日)

基準価額	11,688円
純資産総額	56百万円
第9期	
騰落率	7.9%
分配金(税込み)合計	0円

(注) 騰落率は分配金(税込み)を分配時に再投資したものとみなして計算したもので、小数点以下第2位を四捨五入して表示しております。

(注) 純資産総額の単位未満は切捨てて表示しております。

交付運用報告書

第9期

(決算日 2024年2月20日)

作成対象期間 (2023年2月21日~2024年2月20日)

- 交付運用報告書は、運用報告書に記載すべき事項のうち重要なものを記載した書面です。その他の内容については、運用報告書(全体版)に記載しております。
- 当ファンドは、投資信託約款において運用報告書(全体版)に記載すべき事項を、電磁的方法によりご提供する旨を定めております。運用報告書(全体版)は、インベスコ・アセット・マネジメント株式会社のホームページにて閲覧・ダウンロードいただけます。
- 運用報告書(全体版)は、受益者の方からのご請求により交付されます。交付をご請求される方は、販売会社までお問い合わせください。

<運用報告書(全体版)の閲覧・ダウンロード方法>

右記<お問い合わせ先>のホームページにアクセスし、「ファンド一覧」等から運用報告書(全体版)を閲覧およびダウンロードすることができます。

インベスコ・アセット・マネジメント

東京都港区六本木六丁目10番1号六本木ヒルズ森タワー14階

<お問い合わせ先>

お問い合わせダイヤル：(03)6447-3100
(受付時間：毎営業日の午前9時から午後5時)

ホームページ <https://www.invesco.com/jp/ja/>

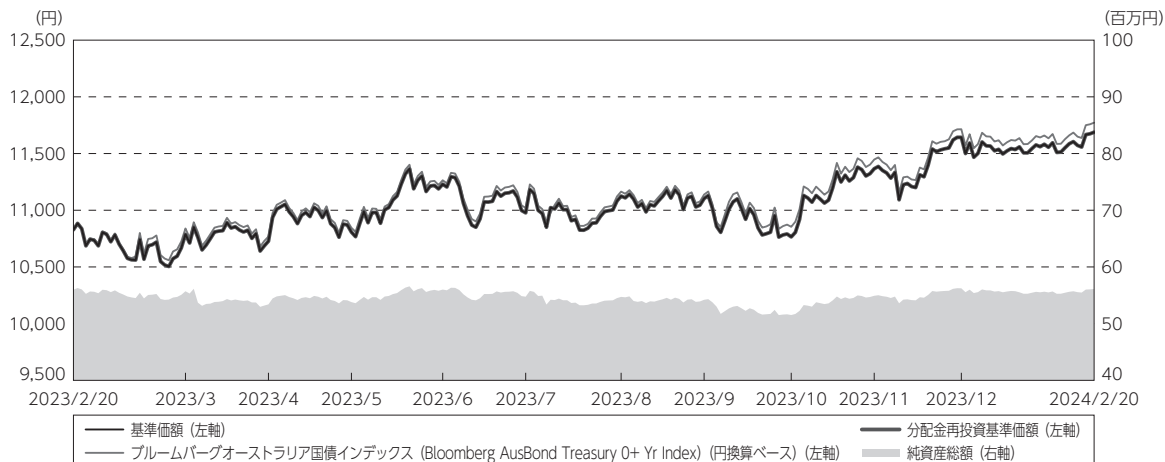


見やすく読みまちがえにくい
ユニバーサルデザインフォントを
採用しています。

運用経過

期中の基準価額等の推移

(2023年2月21日～2024年2月20日)



期 首：10,828円

期 末：11,688円 (既払分配金(税込み)：0円)

騰落率： 7.9% (分配金再投資ベース)

- (注) 分配金再投資基準価額は、分配金(税込み)を分配時に再投資したものとみなして計算したもので、ファンド運用の実質的なパフォーマンスを示すものです。
- (注) 分配金を再投資するかどうかについてはお客様がご利用のコースにより異なります。また、ファンドの購入価額により課税条件も異なります。したがって、お客様の損益の状況を示すものではありません。
- (注) 分配金再投資基準価額およびブルームバーグオーストラリア国債インデックス (Bloomberg AusBond Treasury 0+ Yr Index) (円換算ベース) は、期首 (2023年2月20日) の値が基準価額と同一となるように指数化しております。
- (注) 上記騰落率は、小数点以下第2位を四捨五入して表示しております。
- (注) ブルームバーグオーストラリア国債インデックス (Bloomberg AusBond Treasury 0+ Yr Index) (円換算ベース) は、参考指数です。参考指数の詳細は12ページをご参照ください。

○基準価額の主な変動要因

【上昇要因】

- ・ オーストラリアドル建ての公社債などを実質的な主要投資対象としているため、実質的に保有する債券からのインカムゲイン (利息収入) が基準価額の上昇要因となりました。
- ・ 実質外貨建資産の為替ヘッジを行わなかったため、オーストラリアドルが対円で上昇したことが、基準価額の上昇要因となりました。

【下落要因】

- ・ 幅広い年限で金利が上昇 (債券価格は下落) したことが基準価額の下落要因となりました。

1万口当たりの費用明細

(2023年2月21日～2024年2月20日)

項 目	当 期		項 目 の 概 要
	金 額	比 率	
(a) 信 託 報 酬	円 146	% 1.320	(a) 信託報酬＝期中の平均基準価額×信託報酬率
(投 信 会 社)	(67)	(0.605)	ファンドの運用とそれに伴う調査、受託会社への指図、法定書面等の作成、基準価額の算出等の対価
(販 売 会 社)	(73)	(0.660)	購入後の情報提供、運用報告書等各种資料の送付、口座内でのファンドの管理および事務手続き等の対価
(受 託 会 社)	(6)	(0.055)	ファンドの財産の保管・管理、投信会社からの指図の実行等の対価
(b) そ の 他 費 用	14	0.125	(b) その他費用＝期中のその他費用÷期中の平均受益権口数
(保 管 費 用)	(2)	(0.015)	保管費用は、海外における保管銀行等に支払う有価証券等の保管及び資金の送金・資産の移転等に要する費用
(監 査 費 用)	(3)	(0.030)	監査費用は、監査法人に支払うファンドの監査に係る費用
(印 刷 費 用)	(9)	(0.079)	印刷費用は、目論見書や運用報告書等の法定書類の作成・印刷に要する費用等
(そ の 他)	(0)	(0.000)	その他は、信託事務の処理に要する費用
合 計	160	1.445	
期中の平均基準価額は、11,068円です。			

(注) 期中の費用（消費税等のかかるものは消費税等を含む）は、追加・解約により受益権口数に変動があるため、簡便法により算出した結果です。

(注) 各金額は項目ごとに円未満は四捨五入してあります。

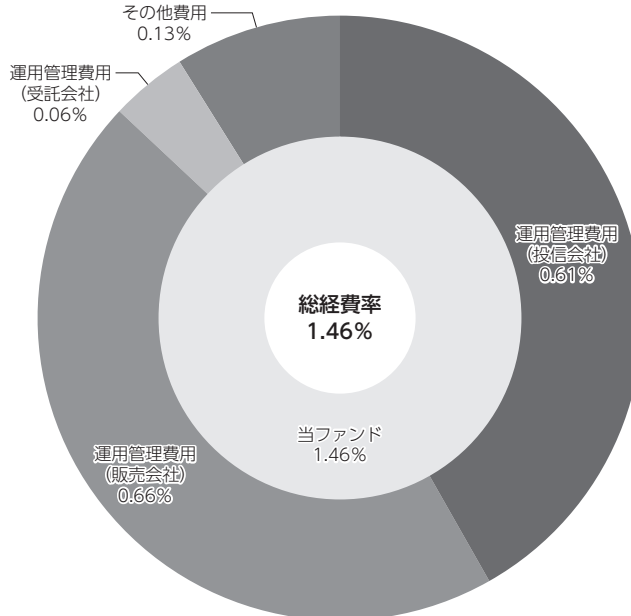
(注) その他費用は、このファンドが組み入れている親投資信託が支払った金額のうち、当ファンドに対応するものを含みます。

(注) 各比率は1万口当たりのそれぞれの費用金額（円未満の端数を含む）を期中の平均基準価額で除して100を乗じたもので、項目ごとに小数点以下第4位を四捨五入してあります。

(参考情報)

○総経費率

期中の運用・管理にかかった費用の総額（原則として、募集手数料、売買委託手数料および有価証券取引税を除く。）を期中の平均受益権口数に期中の平均基準価額（1口当たり）を乗じた数で除した総経費率（年率）は1.46%です。



(注) 当ファンドの費用は1万口当たりの費用明細において用いた簡便法により算出したものです。

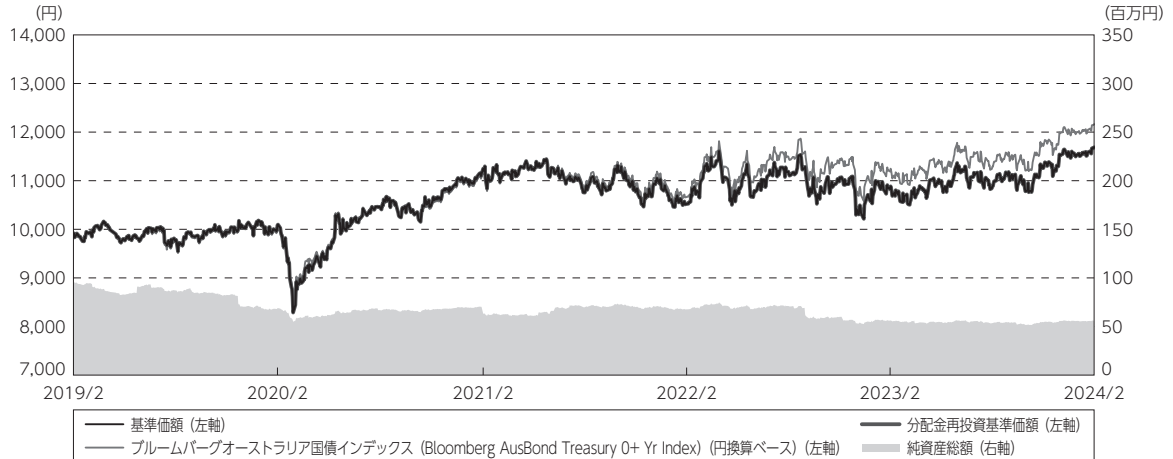
(注) 各費用は、原則として、募集手数料、売買委託手数料および有価証券取引税を含みません。

(注) 各比率は、年率換算した値です。

(注) 当ファンドの費用は、親投資信託が支払った費用を含みます。

(注) 上記の前提条件で算出したものです。このため、これらの値はあくまでも参考であり、実際に発生した費用の比率とは異なります。

(2019年2月20日～2024年2月20日)



- (注) 分配金再投資基準価額は、分配金（税込み）を分配時に再投資したものとみなして計算したもので、ファンド運用の実質的なパフォーマンスを示すものです。
- (注) 分配金を再投資するかどうかについてはお客様がご利用のコースにより異なります。また、ファンドの購入価額により課税条件も異なります。したがって、お客様の損益の状況を示すものではありません。
- (注) 分配金再投資基準価額およびブルームバーグオーストラリア国債インデックス (Bloomberg AusBond Treasury 0+ Yr Index) (円換算ベース) は、2019年2月20日の値が基準価額と同一となるように指数化しております。

	2019年2月20日 決算日	2020年2月20日 決算日	2021年2月22日 決算日	2022年2月21日 決算日	2023年2月20日 決算日	2024年2月20日 決算日
基準価額 (円)	9,841	10,085	11,247	10,521	10,828	11,688
期間分配金合計 (税込み) (円)	—	0	0	0	0	0
分配金再投資基準価額騰落率 (%)	—	2.5	11.5	△ 6.5	2.9	7.9
ブルームバーグオーストラリア国債インデックス (Bloomberg AusBond Treasury 0+ Yr Index) (円換算ベース) 騰落率 (%)	—	2.1	11.3	△ 4.6	4.9	8.7
純資産総額 (百万円)	95	68	63	67	55	56

(注) 上記騰落率は、小数点以下第2位を四捨五入して表示しております。

(注) 純資産総額の単位未満は切捨てて表示しております。

(注) 騰落率は1年前の決算当日との比較です。

(注) ブルームバーグオーストラリア国債インデックス (Bloomberg AusBond Treasury 0+ Yr Index) (円換算ベース) は、参考指数です。参考指数の詳細は12ページをご参照ください。

(注) 参考指数は投資対象資産の市場動向を説明する代表的な指数として記載しているものです。

(2023年2月21日~2024年2月20日)

投資環境

＜オーストラリア国債利回り＞

2年 3.84% (前期末3.53%) 5年 3.80% (同3.62%) 10年 4.18% (同3.81%)

＜対円為替レート＞

オーストラリアドル／円 98円21銭 (前期末92円33銭)

※上記は当期末の数値です。

＜債券市場＞

当期のオーストラリア金利を5年国債利回りの動きで見ると、金利は上昇しました。

期初にかけては、オーストラリア準備銀行（RBA）の総裁がインフレ率はピークを打った可能性が高いと示唆したことなどから金利は低下（債券価格は上昇）しました。その後、RBAが利上げを再開したことや米国での金融引き締め政策の長期化観測などにより米国情債利回りが上昇したことなどを受け、オーストラリアの国内金利も上昇に転じました。2023年11月頃から期末にかけては、RBAが追加利上げに慎重な姿勢を示したことや米国情債利回りが低下したことなどを背景に、金利は低下基調で推移しました。期を通してみると、期末のオーストラリア5年国債利回りは、前期末に比べて上昇し3.79%となりました。

＜為替市場＞

当期のオーストラリアドルは、対円で上昇しました。

期初は、オーストラリア国内の金利が低下基調で推移したことなどからオーストラリアドルは対円で下落しました。2023年4月下旬から6月末頃までは、RBAが利上げを再開し、金利が上昇したことなどからオーストラリアドルは対円で上昇に転じました。その後、日銀による長短金利操作（イールドカーブ・コントロール、YCC）の修正発表や日銀正副総裁による金融政策正常化に関する発言などをを受けて、一時的にオーストラリアドルは対円で下落する展開もありましたが、日銀が金融緩和政策を維持したことなどから、期を通して円が売られやすい展開となり、オーストラリアドルは対円で上昇しました。

当ファンドのポートフォリオ

(2023年2月21日～2024年2月20日)

主として、インベスコ オーストラリア債券 マザーファンド (以下、マザーファンドといいます。)に投資を行い、マザーファンドを通じて、オーストラリアドル建ての公社債などに投資を行いました。また、実質外貨建資産の投資に当たっては、為替ヘッジを行いませんでした。

マザーファンドでは、ファンダメンタルズ分析とモデルに基づくクオンツ分析を併用して経済と市場価格の関係の調査・分析を行い、オーストラリアの金利水準や市況動向、信用格付けなどを総合的に勘案して投資銘柄を選定し、ポートフォリオを構築しました。

デュレーション戦略では、期初から2023年3月末までは参考指数並みとするポジションをとりました。その後一時的に参考指数に対しアンダーウェイトとしましたが、4月末から再び参考指数並み、5月末から10月末までは参考指数に対しオーバーウェイトとするポジションをとりました。11月からは再び参考指数並みとするポジションに変更しました。

信用格付けは、期を通じてAAA格、AA格など信用格付けの高い債券を中心に運用を行いました。種別配分では社債、地方債の組み入れを機動的に変化させながら非国債の組み入れを維持しました。

当ファンドのベンチマークとの差異

(2023年2月21日～2024年2月20日)

当期の分配金再投資基準価額騰落率は+7.9%となり、参考指数であるブルームバーグオーストラリア国債インデックス (Bloomberg AusBond Treasury 0+ Yr Index) (円換算ベース) の騰落率+8.7%を下回る結果となりました。

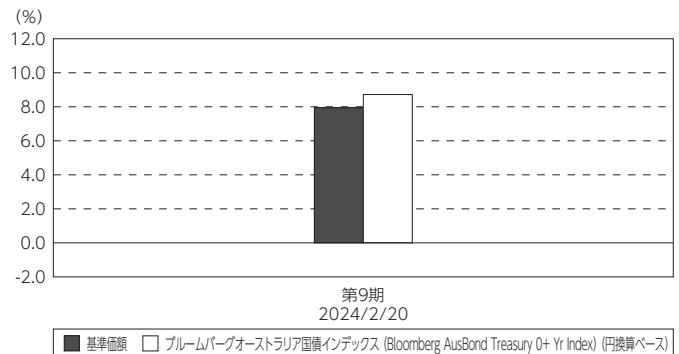
[プラス要因]

- ・信用スプレッドが縮小傾向となる中、投資適格社債や政府関連債をオーバーウェイトとしたことがプラス寄与となりました。

[マイナス要因]

- ・金利が上昇する局面において、デュレーション戦略で参考指数に対し小幅にオーバーウェイトとする戦略をとっていたことがマイナス要因となりました。

基準価額と参考指数の対比 (期別騰落率)



(注) 基準価額の騰落率は分配金 (税込み) 込みです。

(注) ブルームバーグオーストラリア国債インデックス (Bloomberg AusBond Treasury 0+ Yr Index) (円換算ベース) は、参考指数です。参考指数の詳細は12ページをご参照ください。

(2023年2月21日～2024年2月20日)

分配金

収益分配金につきましては、基準価額水準、市況動向および残存信託期間などを勘案し、当期は見送りとさせていただきます。収益分配金に充てなかった収益につきましては、信託財産に留保して元本部分と同一の運用を行います。

○分配原資の内訳

(単位:円、1万口当たり、税込み)

項 目	第9期
	2023年2月21日 ～2024年2月20日
当期分配金	—
(対基準価額比率)	—%
当期の収益	—
当期の収益以外	—
翌期繰越分配対象額	2,166

(注) 対基準価額比率は当期分配金(税込み)の期末基準価額(分配金込み)に対する比率であり、ファンドの収益率とは異なります。

(注) 当期の収益、当期の収益以外は小数点以下切捨てで算出しているため合計が当期分配金と一致しない場合があります。

今後の運用方針

主としてマザーファンドに投資を行い、マザーファンドを通じてオーストラリアドル建ての公社債などに投資を行います。また、実質外貨建資産の投資に当たっては、原則として為替ヘッジを行わない方針です。

マザーファンドでは、ファンダメンタルズ分析とモデルに基づくクオンツ分析を併用して経済と市場価格の関係の調査・分析を行い、オーストラリアの金利水準や市況動向、信用格付けなどを総合的に勘案して投資銘柄を選定し、ポートフォリオを構築します。

中央銀行であるRBAは、2024年2月6日の金融政策決定会合で政策金利を4.35%に据え置くことを決定しました。世界的にインフレがピークアウトし、金融市場では欧米の中央銀行による利下げ観測が広がっています。しかしながら、両行ともしばらくは政策金利を高め維持する方針を表明していることから、今後も金利動向に反応しやすい状況が継続すると思われます。このような環境下、ポートフォリオのデュレーションは、参考指数対比で同程度とするポジションにて運用を開始する方針です。また、引き続き社債を中心とする非国債への配分を継続する方針です。

お知らせ

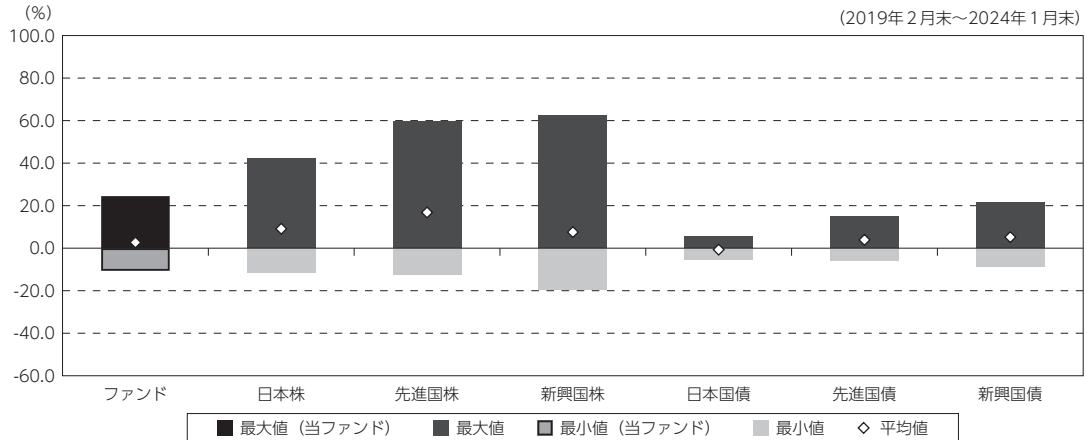
該当事項はございません。

当ファンドの概要

商品分類	追加型投信／海外／債券	
信託期間	2026年2月20日まで	
運用方針	<ul style="list-style-type: none"> ・「インベスコ オーストラリア債券 マザーファンド」受益証券を主要投資対象とし、中長期的に安定した収益の確保および投資信託財産の着実な成長を図ることを目標に運用を行います。 ・実質外貨建資産の投資に当たっては、原則として為替ヘッジを行いません。 	
主要投資対象	インベスコ オーストラリア 債券ファンド (年1回決算型)	「インベスコ オーストラリア債券 マザーファンド」受益証券を主要投資対象とします。
	インベスコ オーストラリア債券 マザーファンド	豪ドル建ての公社債等を主要投資対象とします。
運用方法	<ul style="list-style-type: none"> ・主として、マザーファンド受益証券への投資を通じて、豪ドル建ての公社債などに投資を行います。 ・オーストラリアの金利水準や市況動向、信用格付などを総合的に勘案して投資銘柄を選定します。 ・運用に当たっては、経済と市場価格の関係を調査・分析し意思決定を行うアクティブ運用を行います。調査・分析は、ファンダメンタルズ分析とモデルに基づくクオンツ分析を併用します。 	
分配方針	原則として年1回の毎決算時（2月20日、該当日が休業日の場合は翌営業日）に委託会社が、基準価額水準、市況動向、残存信託期間等を勘案して分配を行います。ただし、委託会社の判断により分配を行わない場合があります。	

(参考情報)

○当ファンドと代表的な資産クラスとの騰落率の比較



(単位:%)

	ファンド	日本株	先進国株	新興国株	日本国債	先進国債	新興国債
平均値	2.7	9.1	16.8	7.6	-0.7	3.9	5.2
最大値	24.5	42.1	59.8	62.7	5.4	14.8	21.5
最小値	-10.6	-11.4	-12.4	-19.4	-5.5	-6.1	-8.8

(注) すべての資産クラスが当ファンドの投資対象とは限りません。

(注) 2019年2月から2024年1月の5年間の各月末における直近1年間の騰落率の平均値・最大値・最小値を表示したものです。

(注) 上記の騰落率は決算日に対応した数値とは異なります。

(注) 当ファンドは分配金再投資基準価額の騰落率です。

《各資産クラスの指数》

日本株：TOPIX（東証株価指数）（配当込み）

先進国株：MSCI コクサイ・インデックス（配当込み、円ベース）

新興国株：MSCI エマージング・マーケット・インデックス（配当込み、円ベース）

日本国債：NOMURA - BPI 国債

先進国債：FTSE 世界国債インデックス（除く日本、円ベース）

新興国債：JP モルガン GBI - EM グローバル・ダイバーシファイド（円ベース）

※各指数についての説明は、P12の「代表的な資産クラスとの騰落率の比較に用いた指数について」をご参照ください。

(注) 海外の指数は、為替ヘッジなしによる投資を想定して、円換算しております。

当ファンドのデータ

組入資産の内容

(2024年2月20日現在)

○組入上位ファンド

銘柄名	第9期末
インベスコ オーストラリア債券 マザーファンド	100.7%
組入銘柄数	1銘柄

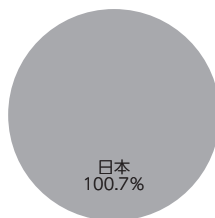
(注) 比率は純資産総額に対する割合です。

(注) 組入銘柄に関する詳細な情報等につきましては、運用報告書(全体版)に記載しております。

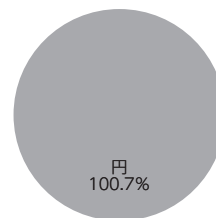
○資産別配分



○国別配分



○通貨別配分



(注) 比率は純資産総額に対する割合です。

(注) 国別配分につきましては、発行体の国籍(所在国)などを表示しております。

純資産等

項目	第9期末
	2024年2月20日
純資産総額	56,108,789円
受益権総口数	48,005,967口
1万口当たり基準価額	11,688円

* 期中における追加設定元本額は1,768,605円、同解約元本額は5,470,517円です。

組入上位ファンドの概要

インベスコ オーストラリア債券 マザーファンド

【基準価額の推移】

(2023年2月21日～2024年2月20日)



【1万口当たりの費用明細】

(2023年2月21日～2024年2月20日)

項目	当期	
	金額	比率
(a) その他費用 (保管費用) (その他)	5 (5) (0)	0.015 (0.015) (0.000)
合計	5	0.015

期中の平均基準価額は、30,731円です。

(注) 上記項目の概要につきましては運用報告書(全体版)をご参照ください。

(注) 各金額は項目ごとに円未満は四捨五入してあります。

(注) 各比率は1万口当たりのそれぞれの費用金額(円未満の端数を含む)を期中の平均基準価額で除して100を乗じたもので、項目ごとに小数点以下第4位を四捨五入してあります。

【組入上位10銘柄】

(2024年2月20日現在)

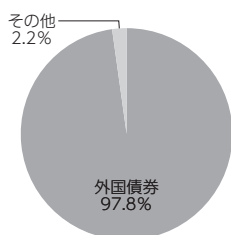
	銘柄名	業種/種別等	通貨	国(地域)	比率
					%
1	オーストラリア国債 2.5% 2030/5/21	国債証券	オーストラリアドル	オーストラリア	10.9
2	ニューサウス・ウェールズ州債 4% 2026/5/20	地方債証券	オーストラリアドル	オーストラリア	6.9
3	オーストラリア国債 1% 2030/12/21	国債証券	オーストラリアドル	オーストラリア	6.9
4	南オーストラリア州債 3% 2026/7/20	地方債証券	オーストラリアドル	オーストラリア	6.1
5	オーストラリア国債 3.25% 2025/4/21	国債証券	オーストラリアドル	オーストラリア	4.8
6	クイーンズランド州債 1.75% 2031/8/21	地方債証券	オーストラリアドル	オーストラリア	4.0
7	オーストラリア国債 2.75% 2029/11/21	国債証券	オーストラリアドル	オーストラリア	3.3
8	オーストラリア国債 1.25% 2032/5/21	国債証券	オーストラリアドル	オーストラリア	2.8
9	ニューサウス・ウェールズ州債 2.25% 2041/5/7	地方債証券	オーストラリアドル	オーストラリア	2.8
10	オーストラリア国債 2.75% 2035/6/21	国債証券	オーストラリアドル	オーストラリア	2.7
	組入銘柄数			38銘柄	

(注) 比率は純資産総額に対する割合です。

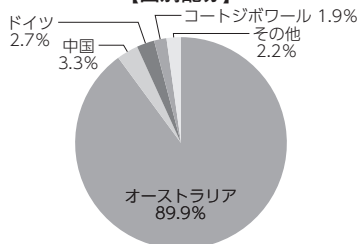
(注) 組入銘柄に関する詳細な情報等につきましては、運用報告書(全体版)に記載しております。

(注) 国(地域)につきましては、発行体の国籍(所在国)などを表示しております。

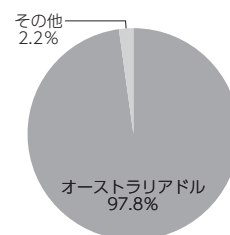
【資産別配分】



【国別配分】



【通貨別配分】



(注) 比率は純資産総額に対する割合です。

(注) 国別配分につきましては、発行体の国籍(所在国)などを表示しております。

(注) その他には現金等を含む場合があります。

※当マザーファンドの計算期間における運用経過の説明は運用報告書(全体版)をご参照ください。

＜当ファンドの参考指数について＞

当ファンドはベンチマークを定めていないため、参考指数としてブルームバーグオーストラリア国債インデックス (Bloomberg AusBond Treasury 0+ Yr Index) (円換算ベース) を掲載しています。当該参考指数は、計算日の前営業日のブルームバーグオーストラリア国債インデックス (Bloomberg AusBond Treasury 0+ Yr Index) (オーストラリアドルベース) に計算日のオーストラリアドル為替レート (対顧客電信売買相場中値) を乗じ、設定日を10,000として、当社で独自に指数化したものです。

＜代表的な資産クラスとの騰落率の比較に用いた指数について＞

○TOPIX (東証株価指数) (配当込み)

TOPIX (東証株価指数) (配当込み) は、日本の株式市場を広範に網羅するとともに、投資対象としての機能性を有するマーケット・ベンチマークで、配当を考慮したものです。なお、TOPIXに関する著作権、知的財産権その他一切の権利は株式会社 J P X 総研又は株式会社 J P X 総研の関連会社に帰属します。

○MSCI コクサイ・インデックス (配当込み、円ベース)

MSCI コクサイ・インデックスは、MSCI Inc.が開発した株価指数で、日本を除く世界の先進国で構成されています。また、MSCI コクサイ・インデックスに対する著作権及びその他の知的財産権はすべてMSCI Inc.に帰属します。

○MSCI エマージング・マーケット・インデックス (配当込み、円ベース)

MSCI エマージング・マーケット・インデックスは、MSCI Inc.が開発した株価指数で、世界の新興国で構成されています。また、MSCI エマージング・マーケット・インデックスに対する著作権及びその他の知的財産権はすべてMSCI Inc.に帰属します。なお、円ベース指数については、委託会社がMSCI エマージング・マーケット・インデックス (配当込み、米ドルベース) に、当日の米ドル為替レート (WM/ロイター値) を乗じて算出しています。

○NOMURA - BPI 国債

NOMURA - BPI 国債は、野村フィデューシャリー・リサーチ&コンサルティング株式会社が発表している日本の国債市場の動向を的確に表すために開発された投資収益指数です。なお、NOMURA - BPI 国債に関する著作権、商標権、知的財産権その他一切の権利は、野村フィデューシャリー・リサーチ&コンサルティング株式会社に帰属します。

○FTSE 世界国債インデックス (除く日本、円ベース)

FTSE 世界国債インデックス (除く日本、円ベース) は、FTSE Fixed Income LLCにより運営され、日本を除く世界主要国の国債の総合収益率を各市場の時価総額で加重平均した指数です。なお、FTSE 世界国債インデックスに関する著作権等の知的財産その他一切の権利は、FTSE Fixed Income LLCに帰属します。

○JP モルガン GBI - EM グローバル・ダイバーシファイド (円ベース)

JP モルガン GBI - EM グローバル・ダイバーシファイドは、現地通貨建てのエマージング債市場の代表的なインデックスです。円ベース指数については、委託会社がJP モルガン GBI - EM グローバル・ダイバーシファイド (米ドルベース) に、当日の米ドル為替レート (WM/ロイター値) を乗じて算出しています。

指数に関する一切の知的財産権とその他一切の権利はJP Morgan Chase & Co.及び関係会社 (「JP モルガン」) に帰属しております。JP モルガンは、指数の内容を変更する権利および公表を停止する権利を有しています。JP モルガンは、指数の正確性、完全性、信頼性、有用性を保証するものではなく、ファンドを推奨するものでもなく、ファンドの運用成果等に関して一切責任を負うものではありません。